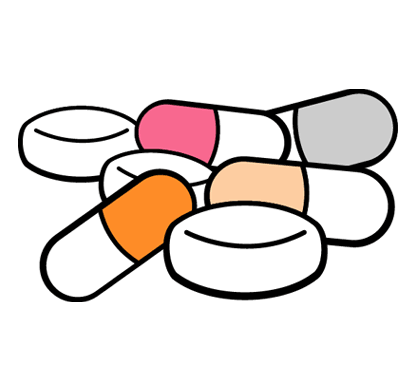


ビスホスホネート系薬剤とあごの骨の異常について

（１）ビスホスホネート系薬剤（以下ＢＰ剤）は、次の疾患の治療などに用いられます。

・骨粗しょう症

・悪性腫瘍による高カルシウム血症

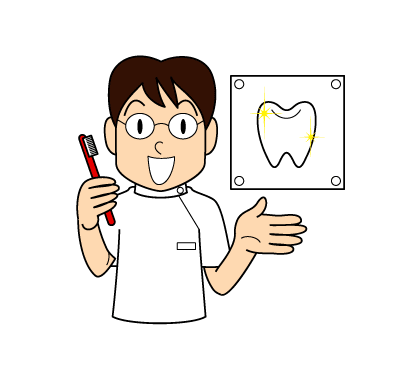
・乳がんの溶骨性骨転移　　など

発売中のＢＰ剤一覧　　**Ｈ28.05現在**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **一般名** | **商品名** | **剤形** |
| エチドロン酸二ナトリウム | **ダイドロネル錠** | 経口剤 |
| パミドロン酸二ナトリウム | **アレディア点滴静注用** | 注射剤 |
| アレンドロン酸ナトリム水和物 | **テイロック注射液** | 注射剤 |
| **ボナロン錠・経口ゼリー** | 経口剤 |
| **ボナロン点滴静注バッグ** | 注射剤 |
| **フォサマック錠** | 経口剤 |
| リセドロン酸ナトリウム水和物 | **アクトネル錠** | 経口剤 |
| **ベネット錠** | 経口剤 |
| ゾレドロン酸水和物 | **ゾメタ点滴静注** | 注射剤 |
| ミノドロン酸水和物 | **ボノテオ錠** | 経口剤 |
| **リカルボン錠** | 経口剤 |
| イバンドロン酸ナトリウム水和物 | **ボンビバ静注** | 注射剤 |
| **ボンビバ錠** | 経口剤 |

* ジェネリック医薬品については、薬剤師にご相談ください。

これらのＢＰ剤により、**顎骨壊死（がっこつえし）・顎骨骨髄炎（がっこつこつずいえん）**といった「あごの骨の異常」があらわれることがあるので、ＢＰ剤を使用中の人は、以下の点に十分に注意してください。



1. ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください
2. 定期的な歯科検査を受けてください
3. 歯科を受診する際には、ＢＰ剤を使用していることを歯科医師にお申し出ください
4. 抜歯などの治療は医師・歯科医師とよく相談してください

（２）ＢＰ剤以外にも、**デノスマブ**という成分の注射剤（**プラリア皮下注　ランマーク皮下注**）の使用によっても、**顎骨壊死や顎骨骨髄炎**があらわれるという報告があるので、ＢＰ剤と同様の注意が必要です。

（３）最近、ＢＰ剤を使用している人に、**外耳道（がいじどう）の骨の壊死（えし**）が発現したとの報告があります。これらの報告では、耳の感染や傷に関連してあらわれた人も認められることから、外耳炎（耳のかゆみ、耳の中の熱っぽさ、耳の違和感）、耳だれ、耳の痛みなどの症状が続く場合には、耳鼻咽喉科を受診してください。

Ｈ28.09.12　あすか薬局